

松戸市教育大綱

— みんなで育てる みんなが育つ 松戸の^{いま}現在、未来 —

(案)

平成28年1月

松 戸 市

はじめに

平成27年度から教育委員会制度が変わりました。その一つの改革として、市長が、「教育、学術及び文化の振興に関する施策の根本的な方針（教育大綱）」を策定することになりました。

複雑になった社会環境、多様化する市民ニーズのなかで、子どもであっても、大人であっても、一人の市民に対する教育あるいは生涯学習をトータルで考えるためには、今まで以上に、市長部局と教育委員会が連携し、一緒になって考えていく必要があります。そして、本市が目指すまちづくりに向けて、教育施策がどうあるべきかを、行政組織の壁を超えて、捉えなおす必要性が高まっていると思います。

また、学校教育における安全性確保など、子どもたちの安全・安心な学習環境の整備が求められるなか、教育行政は、教育委員会だけではなく、市長部局も課題を共有し、連携して取り組むことの重要性を感じているところです。

現在、わが国では、少子高齢化、人口減少などの課題を受けて地方創生が進められています。本市も首都圏の課題である少子高齢化に対応して、特色ある自立した都市を目指しています。そのために、4つの基本目標「子育て、教育、文化を軸とした都市ブランドづくり」「高齢者がいつまでも元気なまちづくり」「まちが再生し、賑わいのあるまちづくり」「経済が活性化し、安心して働けるまちづくり」を進めており、教育は、重要な政策の柱の一つとしています。

松戸市総合戦略に示す将来像「多世代が共にいきいきと暮らせるまち」を一緒につくっていける市民をみんなで育て、みんなが育つことが、この教育大綱の理念になっています。そして、この大綱は、教育行政の環境整備の目指す方向や範囲を示しています。市民の皆さん一人ひとりと共に学び、育ち、行動し、「教育のまち 松戸」を一緒につくっていきたいと思います。

平成28年1月

松戸市長 本郷谷 健次

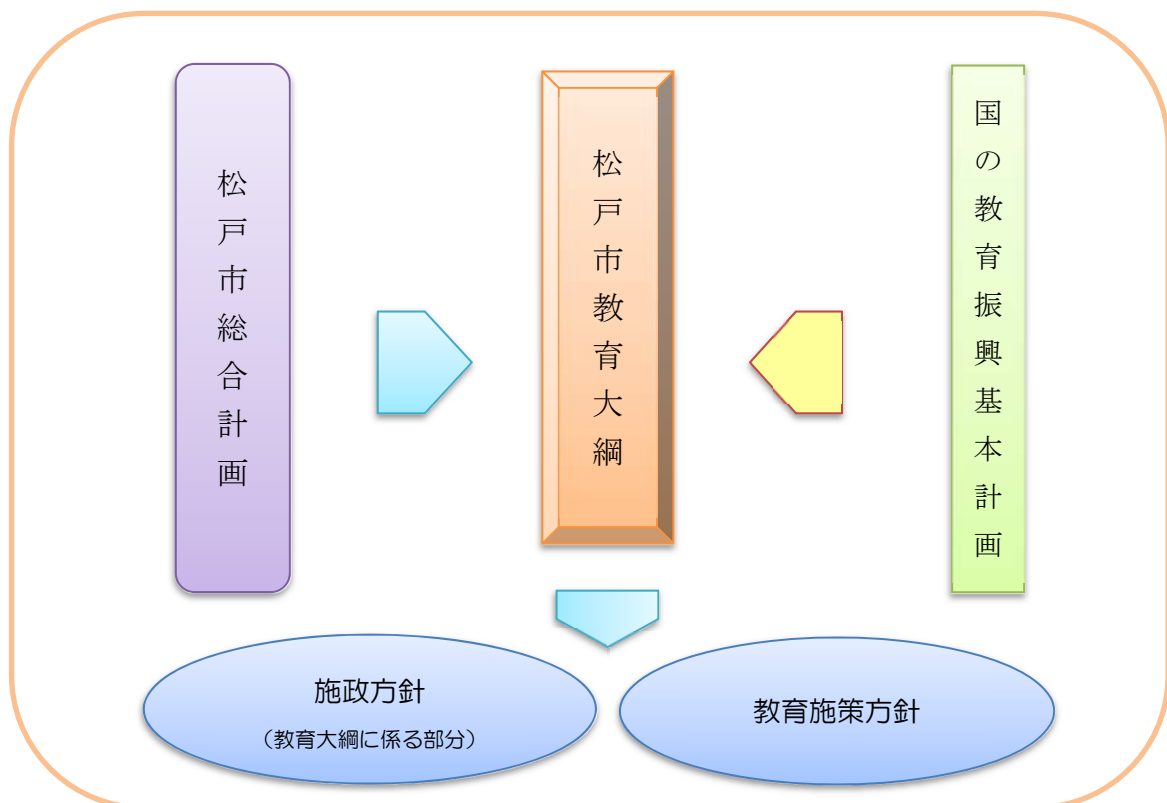
教育大綱の背景と趣旨

平成27年度から教育委員会制度が大きく変わり、教育行政を協議する「総合教育会議」を市長が主宰するとともに、教育行政の大綱を策定することとされました。

松戸市教育大綱は、「総合教育会議」において、市長と教育委員会が協議・調整して策定するもので、本市の教育、学術及び文化の振興に関する施策の根本的な方針を定めるものです。人口減少・少子高齢化の進展に対応し、将来にわたって活力ある地域社会を維持していくことが大きな課題となる中、市長と教育委員会がこれまで以上に緊密に連携し、教育・子育て・文化などに関する諸施策を推進していきます。

教育大綱の位置付け

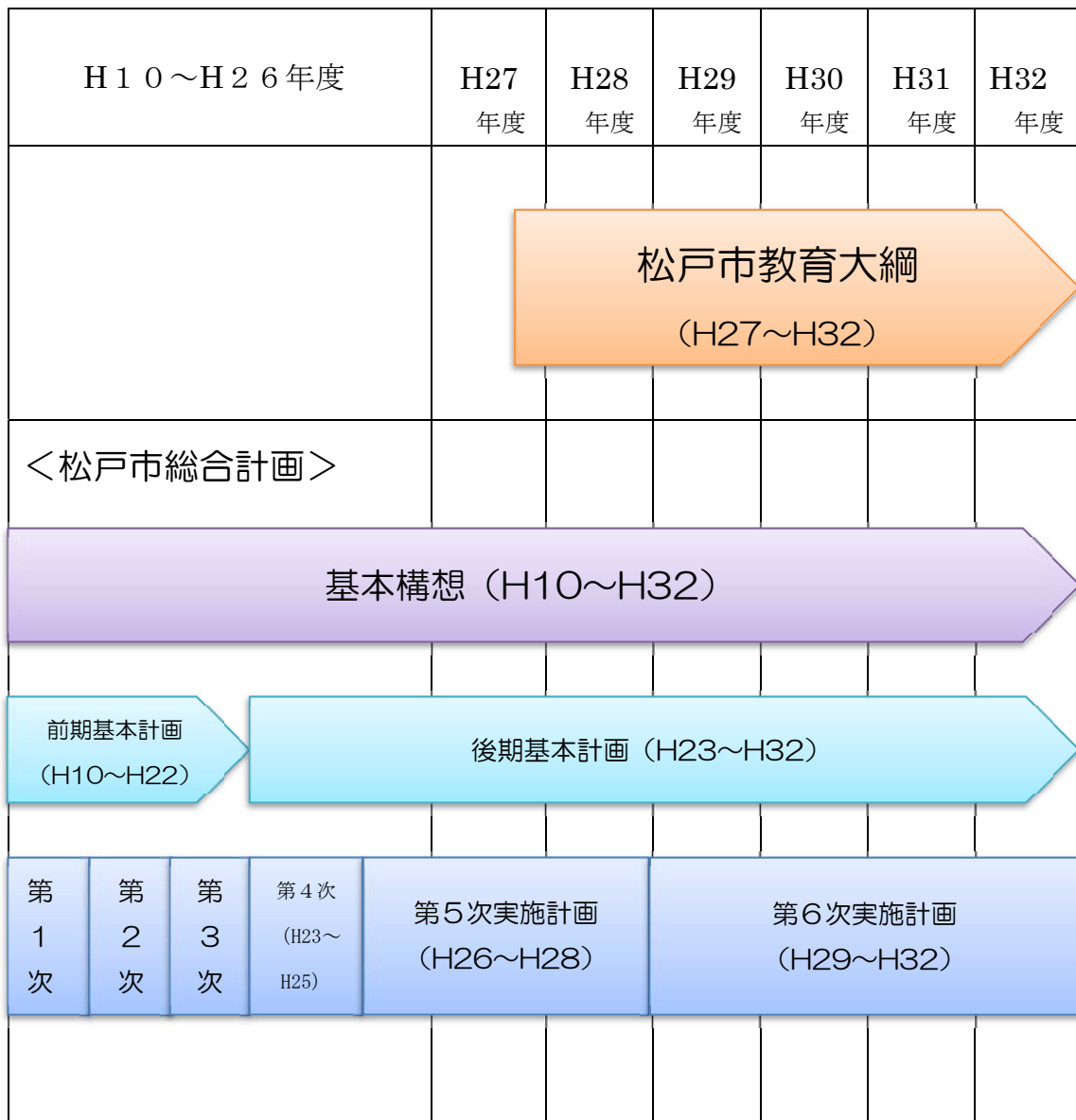
松戸市教育大綱は、松戸市総合計画（基本構想・基本計画）を上位計画とし、そのめざす将来像を実現するため、教育施策などを推進するための基本的な方向性を定めるものです。策定にあたっては、教育基本法に基づく国の教育振興基本計画を参酌するとともに、関係する本市の他の行政分野の計画との整合性を図っています。



教育大綱の対象期間

大綱の対象期間は、平成28年1月から平成32年度までのおおむね5年間とし、松戸市総合計画（基本構想・基本計画・実施計画）の期間満了に合わせます。

ただし、この間、教育を取り巻く状況や社会情勢に大きな変化が生じた場合は、必要に応じて見直しを行うものとします。



基本理念

みんなで育てる みんなが育つ 松戸の^{いま}現在、未来
～「多世代が共にいきいきと暮らす」ために～

松戸に暮らす様々な世代の人たちが、自立を目指し、互いに助け合って、平和にいきいきと光り輝く人生を送れるようにします。

そのために、松戸市は、すべての市民が、生涯を通じて学ぶよろこびを感じられ、未来に向かって成長できるように支援します。また、市民・地域社会・学校・行政が、共に学び合い、互いを育めるような環境をつくります。

そして、学んだ人たちが、学習成果をより広い世界での活躍に役立てるとともに、地域社会にも還元できる仕組みを整え、みんなで、松戸の未来を創ります。



基本理念を支える4つの柱

1 松戸に育つ子どもたちが、それぞれの能力や個性を伸ばせるように、教育環境をつくります —可能性にチャレンジする力を育みます—

子どもたちが自らの将来に目標を持ち、その実現に向けてチャレンジするための「確かな学力、豊かな心、健やかな体の知・徳・体のバランスのとれた力（生きる力）」を育みます。そして、社会的に自立し、他者と協働しながら創造的に生きていく基礎を養います。

子どもたちの能力や個性を伸ばすことによって、今後ますますグローバル化する社会の中で、活躍する人材を育成します。

また、子どもたちが安全・安心な学習環境で学ぶことができるようにします。

2 子どもたちが地域社会の中で育つように、市民みんなで子どもの成長を支える地域の環境をつくります

—松戸で子どもを教育したいと選ばれるようにします—

誰もが安心して子どもを育てることができるように、家庭での教育を支援するとともに、学校・地域社会と一緒に子どもの成長を支援できる体制を整えます。また、すべての子どもたちが健やかに成長できるように、子どもの権利が尊重される地域社会をつくり、その中で幼児のときから様々な教育が受けられるようにします。

3 市民みんなが、いつまでも元気で学び続けられるように、学習活動や運動ができる環境をつくります

—高齢者も障害のある人も生きがいを持ち続けられるようにします—

生涯にわたって学習活動や運動を楽しみながら、自ら学び、学び合える「人と人がつながるまち」を目指します。そのために、市内大学等との連携や社会教育施設の充実を図るなど、環境整備を行います。また、市民が、地域の課題を自らの力で解決していけるように、身に付けた知識や経験を活かしていける環境を整えます。

4 松戸で文化やスポーツの活動をする人たちが活躍できるように、多様性が尊重され可能性を発揮できる環境を整えます

—文化とスポーツで松戸の魅力を高めます—

多様な文化芸術活動を通して、国際的な広い視野で文化を創造できる人が生まれるような環境を整えます。また、松戸の歴史文化を大切に守り学ぶことから、ふるさと意識を醸成します。文化やスポーツの振興を図り、松戸にゆかりのある人を応援するとともに、松戸に誇りと愛着を持つ心を育てます。